

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルONE		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～ 令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境構造化やスケジュールの視覚化等により、見通しを持ちやすい支援環境を整備している。個々の特性に応じた環境調整を行い職員間で支援方法の共有を図っている。	利用児の特性に応じて絵カードを工夫したり、タイマー等様々なツールを使い分けている。	少人数・個別での取り組みも行っていく。
2	小まめに保護者との連携を取り、サポートしている。	送迎時や連絡アプリにて密に利用児の情報共有をしている。	有資格者による相談室も開設したので、更なる連携を図っていきたい。
3	クールダウンや勉強(宿題)をする部屋があるなど、状況に合わせて心地よく過ごせる環境となっている。	活動に適した使い方が出来るよう環境を整えている。	整理整頓し、落ち着いて過ごせるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニング等を行えない。	実施可能な人材の育成・職員の確保の課題。 保護者様の日程調整が難しい。	年間スケジュールに組み込んでいく。
2	地域の方との交流機会が少ない。	イベント情報の収集等。	安全面等について議論し、前向きに検討する。
3			